

日本木材学会北海道支部 第50回研究会のお知らせ

平成22年10月に「公共建築物等木材利用促進法」が施行されてから8年が経ち、道内においても地域材を使って役場庁舎などの公共施設を建てる事例が見られるようになりました。道内の木質部材（製材、集成材、合板等）の生産状況や流通状況は地域によって異なるため、各自治体ではそれらの状況に応じて木質部材の入手方法を工夫して公共施設に使用しています。このことから、木質部材の生産・流通状況は、公共施設などへの地域材利用の重要なポイントと考えられます。

本研究会では、林産試験場の研究者から道内の木質建材の生産・流通状況について、自治体担当者から地域材を使った公共施設の建築に係る取り組みについて講演して頂きます。パネルディスカッションでは、講演者に木質部材の道内事業者および大学の先生を加え、今後の公共施設等への地域材利用について議論します。

主催：一般社団法人日本木材学会北海道支部

後援：一般社団法人北海道林産技術普及協会

開催日：2019年5月30日（木）

講演会場：旭川地場産業振興センター2階会議室（旭川市神楽4条6丁目1番12号）

プログラム：

○日本木材学会北海道支部総会 13:00～13:30

○日本木材学会北海道支部研究会 13:45～17:30

講演会「道内における公共施設への地域材利用を考える」

地域材による木質部材の生産・流通状況について

（地独）北海道立総合研究機構 林産試験場 石川佳生

当麻町における公共施設への地域材利用について

当麻町教育委員会教育課 菅野敏夫

知内町における公共施設への地域材利用について

知内町地域創生推進室 三原知明

パネルディスカッション

【コーディネータ】（地独）北海道立総合研究機構 林産試験場 渡辺誠二

【パネラー】（地独）北海道立総合研究機構 林産試験場 石川佳生

当麻町教育委員会教育課 菅野敏夫

知内町地域創生推進室 三原知明

物林(株) 営業本部北海道建設事業部 近藤健彦

北海道大学大学院農学研究院 佐々木貴信

○懇親会 18:00～20:00

大雪地ビール館（北海道旭川市宮下通り11丁目1604番地の1）

TEL 0166-25-0400, FAX 0166-25-0401

参加費：

・研究会 会員無料、非会員1,000円（資料代として）

・懇親会 5,000円（会員、非会員とも）

※いずれも参加費は当日受付にてお支払い願います。当日参加も受け付けますが、資料準備の都合上、できるだけ事前に申込み願います。

研究会資料：

【北海道支部会員】

今回の研究会では、資料は PDF ファイルとして発行します。5月中旬に支部ホームページにアップロードしますので、各自印刷してご持参ください。

北海道支部ホームページ (<http://lab.agr.hokudai.ac.jp/wrsh/>)

【北海道支部会員ではない方】

当日、受付で印刷した資料をお渡しします。

参加申込み：参加を希望される方は、以下の(1)から(5)を記載の上、**5月15日(水)**までにEメールまたはFAXにて、お申し込み下さい。

記載事項：(1)氏名，(2)所属，(3)連絡先，(4)研究会参加の有無，(5)懇親会参加の有無

申込先：研究会理事 河原崎政行（(地独)北海道立総合研究機構 林産試験場）

E-mail kawarasaki-masayuki@hro.or.jp, FAX 0166-75-3621

研究会理事 荒川圭太（北海道大学大学院農学研究院）

E-mail keita-ar @for.agr.hokudai.ac.jp, FAX 011-706-2511